



SANWACOMPANY DESIGN AWARD

サンワカンパニー デザインアワード2017 施工事例コンテスト 結果発表

サンワカンパニーデザインアワードは2016年から引き続き、「プロダクトデザインコンテスト」と「施工事例コンテスト」のふたつのコンテストを開催した。施工事例コンテストには116作品の応募が集まり、12作品が1次選考を通過し、最終選考へ進んだ。最終選考は、2017年12月12日東京・青山のサンワカンパニー東京ショールームにて開催された。審査委員長を務める建築家の藤本壮介氏を筆

頭に、サンワカンパニーの山根太郎氏、津崎宏一氏、古澤幸彦氏らによる審査委員会が、独創性・デザイン性・製品知識・可能性の4つを審査基準として審査を行い、最優秀賞1点（賞金30万円）、優秀賞1点（賞金10万円）、入選4点（賞金各3万円+サンワカンパニークーポン2万円分）が選出された。



審査会の様子。

最優秀賞

株式会社内田直之建築設計事務所 The Waseda Residence

多種多様な生活スタイルやさまざまなニーズに対応できるように、複数タイプの住宅をひとつの建物の中にパズルのように組み上げた全11戸の賃貸集合住宅。
[使用商品] キッチン：プレーンKエレ、コンパクトキッチン430 レンジフード：ミニマル



優秀賞

Hamee 株式会社 Hamee 株式会社小田原本社

「Be Children! Be Hamee!」というコンセプトのもと、子供のように働くことで、コミュニケーションとクリエイティブを活性化していきたいという想いで設計された。
[使用商品] キッチン：GRAD45



入選

フリーダムアーキテクツデザイン株式会社 舞台の家



5mの全開口となるサッシを開けると、庭と一体になるLDKが「室内」としての装いから、自然の中に佇む「舞台」のような装いになる。
[使用商品] キッチン：GRAD45

株式会社ディック プレジデント赤坂



築43年のマンションをパリのアパートマン風にリノベーションし、白を貴重にした広いフリースペースのほか、間仕切りにも自由度を残して設計した。
[使用商品] 洗面ボウル：カーラ ロートアイアン：オニオン48

池田雪絵大野俊治一級建築士事務所 矩のつらなり



地域に開いた子供文庫、簡易ホールをもつ開放感のある家。左右の壁の重なりが居場所をつくり、矩の隙間から人や光や風景が行き来する。
[使用商品] キッチン：GRAD45 レンジフード：ミニマル

一級建築士事務所 group-scoop 四塔七巢



7つの巢穴を内包する4本の塔が、ほどよいブラインド効果で駅前の喧騒からプライバシーを守る美容室併用住宅。
[使用商品] 機能門柱：オスポール キッチン：GRAD45、コンパクトキッチン430 洗面ボウル：ハトリアオーバル、ボウル その他：ビッド室内物干しワイヤー

審査講評



審査委員長 藤本壮介
(藤本壮介建築設計事務所)

全体の印象としては、キッチンなど水回りにクオリティの高い製品を使うという意識がますます多く見受けられるようになり、みなさんそれが上手になってきているのが頼もしいと思いました。その中でも、商品の魅力に加えてそれぞれがさらに工夫を凝らし、自分たちの空間とコラボレーションさせたものが選ばれたのではないかと考えています。

最優秀賞の「The Waseda Residence」はさまざまなプランがある集合住宅で、使いやすさでこんなにもいろいろな表情が見えてくるのかという驚きと面白さがとても魅力的だと思えました。どんなふうに使われているか期待させると同時に、建築家の側にもっとできることがたくさんあるのだと感じさせる作品です。

優秀賞の「Hamee株式会社小田原本社」は、新しいコミュニティスペースの形を示しているように思います。キッチンにある程度の大きさが求められていますが、そこで存在感を見せつつ周囲と調和できていることが魅力的です。パレットのような素材などいろいろな素材、柔らかさや硬さを組み合わせながら全体をまとめているところに力量を感じました。

入選の4作品は、その内の3つがGRAD45を使っています。それぞれ使い方は少し異なりますが「舞台の家」は、大きく外へ開いたメインスペースの顔になるようにキッチンを決め、ステンレスのサーフェースが明かりを写し込むという、王道の使い方を堂々としている点で評価しています。

一方で「四塔七巢」は、内装が木を基調とした質感のあるつくりになっています。その中に溶け込むように製品を使っており、「舞台の家」とは少し違う方向でクオリティを出していくことの可能性を示してくれています。「矩のつらなり」は、住宅建築としてのクオリティが高いと思っています。リビングと別の部屋が繋がっているからさまざまな表情を持ち、いろいろな居場所のある家です。その中で、ステンレスのミニマルなキッチンが慎ましくかに行んでおり、空間にうまく調和しています。こういうテイストもあるのだと感心しました。

「プレジデント赤坂」は、アーチ型のドアや丸い鏡があるような少しファンシーなテイストに、丁寧なデザインでシャープでミニマルな洗面ボウルをうまく調和させていて、使い方の可能性を広げていると思います。使い方が難しいロートアイアンを間仕切りとして家の中心に大胆に使用していて、気軽に家の中にも使っているのだと背中を押してくれるような、インテリアの可能性を広げるような自由さがあって面白いと思いました。



山根太郎
(サンワカンパニー代表取締役社長)

第1回目に最優秀賞をとった作品は弊社のタイルを使用している受賞でしたが、今回の受賞作品はすべてキッチンを使用いただいています。これは、弊社がタイルのネット販売から今のビジネスをスタートし、主力商品がキッチンに移行したことを反映しているようであり、多くの方にそのことを認知していただけるようになったのだと思います。最優秀賞に選ばれた「The Waseda Residence」はコンパクトキッチンを使用いただいていた、限られた空間をいかに美しく見せるかというわれわれの得意分野の表れでもあると思っています。



津崎宏一
(サンワカンパニー取締役副社長)

最優秀賞に選ばれた「The Waseda Residence」は各部屋で違うテイストを出していますが、ひとつのマンションを通じて、われわれの商品がいろいろなテイストを出せるということを体現していただいたと思っています。優秀賞の「Hamee株式会社小田原本社」には、ステンレス製キッチンと木などの異素材を用いて空間をつくるという、組み合わせの妙技を見せていただきました。その他の作品も、同一商品でもテイストに幅があったり、リノベーションに使用していただいたりさまざまな使い方をいただけたことを嬉しく思います。



古澤幸彦
(サンワカンパニーマーケティング部長)

今回は初めての審査に参加させていただきました。同じ商品を使っても、施工によっていろいろな表情が出るのかと驚かされると同時に、お客様のさまざまなニーズに向き合うことができるのではないかと改めて実感致しました。入選の「プレジデント赤坂」は、予想を超えたロートアイアンの新しい用途を見せてくれた点でたいへん素晴らしいと思います。そういう意味で、空間の広がりというのは、施工の仕方や使い方によってまだまだ可能性があるのではないかと実感する機会となりました。